



高校生の ドローン飛行体験会

【協会本部】



建設業界のDX・ICTやドローンについての座学

令和5年5月2・11日の計2回、建設業のICT技術やドローン操縦の体験を通じて、高校生に建設業の新しい側面を知ってもらい興味を持ってもらうよう、栃木県立小山北桜高等学校にてドローン飛行体験会を開催いたしました。

まず、座学の時間では、建設業界のDX・ICT、ドローンに関する基礎知識を学び、建設業の先進技術や取り組みについての理解を深めていただきました。その後、屋外での実習では、実際にドローンを操縦し、飛行や撮影の基本的な操作方法を学びました。



屋外にて、DJI社のPhantom4を操縦

この体験会を通じて、生徒の方々には、建設業界におけるドローンの活用方法や可能性について具体的なイメージを持つ

ことができたのではないかと感じます。

建設業界が進化し続けていることや、ICT技術やドローンなどが建設現場でどのように活用されているのかを学ぶことで興味が高まり、将来の担い手となる人材が増えていくことを期待し、引き続き、体験会を続けてまいります。

(一社) 栃木県建設業協会 技術部

土木・建築の仕事の魅力を伝達 ～宇都宮工業高校にて出前講座～

【宇都宮支部】



若手現場監督との座談会

宇都宮建設業青年の会(田仲重啓会長)は、2月15日に宇都宮工業高校の環境土木科ならびに建築デザイン科の2年生を対象とした出前講座を実施しました。



釜川放水路を見学する生徒たち



カンセキスタジアムを見学する生徒たち



アスファルト舗装工事の実習

環境土木科は「釜川放水路地下河川耐震化工事」を、建築デザイン科は「カンセキスタジアム」「ユウケイ武道館」を最初に見学。特に環境土木科の生徒たちは、普段見ることができない地下式トンネルに入り、内空断面33㎡の巨大な地下空間である放水路を歩いて見学し、自分たちの学んでいる土木技術により構築された構造物が市街地への浸水被害を防いで、多くの市民の安全・安心に寄与しているのだということを実感していました。

その後の座学では、現場監督の仕事内容を説明し、建築デザイン科では座談会形式の話合いも設けられ、より具体的に仕事内容を理解していただきました。

また、環境土木科では「アスファルト舗装工事」の実習も行い、土木の魅力とともに現場の安全管理の重要性や作業方法・作業手順などについても理解を深めていただきました。

(岩原産業(株) 岩原正樹)



令和5年度栃木県建設業協会鹿沼支部・鹿沼建設業協同組合通常総会の開催

【鹿沼支部】



宇賀神支部長による冒頭の挨拶

栃木県建設業協会鹿沼支部は令和5年5月23日、鹿沼商工会議所大会議室で通常総会を開催しました。総会は会員企業の皆様に加え、来賓として栃木県議会議員の神谷幸伸氏、特別顧問の中津宰氏をお迎えし、盛大に行われました。

冒頭、支部長の宇賀神勝氏よりあいさつがありました。宇賀神支部長は、歴史上類を見ないコロナ禍であったにもかかわらず、会員企業の地域のその収束に伴い4年ぶりの通常総会開催となったことに、会員の皆様のご理解とご協力に感謝の意を表しました。また、支部長から本年度も死亡災害ゼロを主たる目標として会員の安全衛生基準のなお一層の底上げの宣言が発表されました。



その後、来賓の神谷氏、中津氏よりあいさつをいただき、会員企業の日頃の活動に敬意を表し、今後とも地域社会への貢献をお願いしたいなどの趣旨のあいさつがありました。

次に、令和4年度の事業報告並びに収支決算、令和5年度の事業計画並びに収支予算についての説明が行われ、賛成多数で全議案が承認されました。

栃木県建設業協会鹿沼支部員は、今後も気候変動等による災害や家畜伝染病、社会の変化に対策・対応しながら、会員企業の協力のもと地域社会に貢献し、安全で安心な社会の実現に向けての気持ちを一同新たにしました。
(五月女建設(株) 五月女 紀士)

G7おもてなしクリーンアップ作戦

【日光支部】



6月に日光市で開催されるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合を前に、県魅力ある建設事業推進協議会がおもてなし事業の一環として、中禅寺湖周辺で清掃活動を行いました。

清掃活動は「G7おもてなしクリーンアップ作戦」と銘打ち、栃木県日光土木事務所と栃木県道路公社、県建設業協会日光支部の主催で実施し地元中宮祠自治会の方々も参加していただき、総勢約170人が参加されました。

主会場となる「ザ・リッツカールトン日光」周辺をはじめ、中禅寺湖畔の歩道や路肩など約9kmを3班に分かれ、ごみ拾いに汗を流しました。

今回の事業で、地域住民と合同で事業を行えたのは初めてであり、我々建設業者としてとても意義深いことでした。



帰り道の第一いろは坂では、栃木県内初のメロディーラインを体験し、下り坂では速度をかなり抑制しないと綺麗なメロディーにならないことを実感しました。今後の速度超過に起因する事故抑制につながることを願います。
(斉藤建設(株) 斉藤一明)



第2回永野川改良復旧工事現場見学会

【下都賀支部】



堤防をウォーキングしながら工事現場を見学する参加者

永野川改良復旧工事等安全協議会は3月18日、一般市民を対象とした第2回工事現場見学会を開催しました。

今回のイベントは2019年の東日本台風で被災した一級河川永野川を『永野川が変わる！』『強くなる！永野川』を合言葉に進めている整備事業を、永野川沿いの堤防をウォーキングしながら工事現場を見学して、同事業の理解を深めてもらう目的で開催。



雨の中であつたが沢山の参加者が集まり盛況だった



一般参加者と共に歩き見学する齋藤支部長

関係者ら約70人、市民約120人が参加して始まった本イベントはスタート地点となる大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」に集合、同協議会の齋藤支部長は「あいにくの雨だが、多くの皆様に参加していただけたことに感謝したい。今回の見学会を通じて災害に関する知識を深めていただき、建設業界への理解が進むことで今後の防災・減災活動に活かされれば幸い」とあいさつした。

来賓からは大川栃木市長と栃木土木事務所の上野所長に流域治水・事業概要の説明とあいさつをいただきました。

出発した参加者は随行したスタッフと説明、質問等を交えながら雨の降りしきる中でしたが、桜がほころび始めた堤防の上を歩き、強く生まれ変わってゆく永野川の様子を見学しました。

(富田建設(株) 富田修介)

那須清峰高校インターンシップ

【那須支部】



コンクリート小手仕上げ(体験)

令和4年9月5日から9日(5日間)那須支部において県立那須清峰高校建設工学科の生徒38名(土木コース14名・建築コース24名)のインターンシップを一括して受け入れて、支部として実施いたしました。



座学



炊き出し訓練

オリエンテーション、安全教育、合同会社説明会(各社プレゼン)等は、土木コース・建築コース合同で実施し、測量実習、現場見学、会社訪問については各コースに分かれて実施いたしました。最終日はグループ分けをしての座談会を行い地域建設業の具体的な業務内容の説明や、インターン

シップについての意見や感想を生徒からも発言してもらう等、建設工学を学ぶ生徒と地元建設業及び建設会社との距離を縮め、深く理解してもらう機会となりました。

参加した生徒のアンケートからは、今回のカリキュラムについて70%以上が「面白かった」、「興味をもった」という結果となりました。今後もより一層の地域建設業への理解と、就職に役に立つ内容を検討しインターンシップの内容を充実させてまいります。

(マルホ建設(株) 星 豪紀)